



ぽかぽか ドキュメンテーション

(7月園だより No.2) 日出みみょう保育園

乳児園の玄関先にあるプランターには、トマトにきゅうりそしてゴーヤとたくさんの夏野菜がぐんぐん大きくなっています。

夏野菜に毎日水やりするのが日課になっているらいおんぐみさんは、「大きくな〜れ」「おおきくな〜れ」と友だちと口ずさみながら水やりを楽しんでいます。

ある日、「トマトがきいろくなってきた」と色が変わっているのに気づいたAくん。「どこどこ」と興味津々で一緒にのぞきこむ子どもたち。

「黄色から赤になったら食べれるんだよ」とお父さんに教えてもらったようで得意顔で教えているYくんの姿も…。

トマトが
きいろくなってきた



子どもたちは毎日、水やりをする中で、葉っぱが大きくなったり、花が咲いたり、実が実り色づき始めたり、様々な変化に出会っています。こうした体験は、大人にとっては当たり前のことも、子どもたちにとっては、一つひとつが不思議でいっぱいです。また、見たり、触ったり、匂いを嗅いだり、味わったりと五感で感じる中で、植物への愛情が深まり、葉っぱに元気がないと「どうしたんかね」と心配そうにしたり、トマトさんはお水が大好きなんだよねと知ったり…。こうした植物への興味・関心の広がり子どもたちの探求心の基礎となり、様々なことを考える力へと繋がっていきます。

みてみて!!



登降園の際、プランターの前で楽しそうにおしゃべりする親子の姿も、たくさん見かけるようになりました。きっと子どもたちは、お父さんやお母さんにも毎日の変化を教えてくれていることでしょう。

子どもたちの声に耳を傾けてみると、きっと見逃していた小さな変化に気づけると思いますよ。

そろそろトマトの収穫の日が近づいてきました。

収穫した後は、もちろん給食先生にお願いして味わいたいと思っています。自分たちでお世話したトマトはいったいどんな味がするんでしょう。食べた時の子どもたちの表情も楽しみです。

日出乳児園 主任